

手をつなごう

平成18年12月18日

岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 25

冬休みに読みたい本

コーディネーターKのお薦め！

中学校の先生、必見！

「教室でできる特別支援教育のアイデア

中学校編」

月森久江編集（図書文化）2600円

手元に一冊あるとものすごく助かる本です。高校でも使えます。

すばらしいポイント

10教科すべてについて、教科ごとに具体的なアイデアが複数書かれている。

提出物が出せない生徒、学習の意欲が落ちている生徒、欠席が増え始めた生徒など、ライフスキルへの支援についても具体的なアイデアが書かれている。

（ちなみに小学校向けもあります）



冬休みが近づいてきました。冬休みなんてない方、冬休みのほうが忙しい方も多いことと思いますが、大掃除の後、初詣の後などにちょっと気分を変えてこんな本を読んでみてはいかがでしょうか？

...ということで、本校のコーディネーターお薦めの本をご紹介します。

コーディネーターTのお薦め！

「発達障害児者の問題行動

その理解と対応マニュアル」

志賀利一著（インパワメント研究所）1100円＋税

「応用行動分析で特別支援教育が変わる

子どもへの指導方略を見つける方程式」

山本淳一・池田聡子著（図書文化）2400円＋税

どちらも応用行動分析の考え方に立って書かれた本です。

は具体例を基に＜PLAN→DO→SEE＞の手順を追いながら理解できるような構成になっています。巻末にフェイスシートや記録表がついていてすぐに実践できるようになっています。

はABC分析などの技法の紹介だけでなく、校内支援システムや個別の指導計画についても書かれ

ています。それぞれのケースに応じた対処法もありますが、注意集中に関しても「全般的注意」と「個別的注意」に分けて解説してあるなど、論理的な説明がなされています。

これらの本を読むと、例えば、「そうじをしない勝手な子」と見ていた子も違った見方になり、指導への手がかりが得られます。「子どもの行動は“個人と環境の相互作用”」という言葉が象徴的です。「困ったな・・・」と思うことがある方は、ぜひ御一読ください。



では皆様よいお年を！！